

ほうさやまかずお 市政報告

発行:富山市議会議員 自由民主党 柞山 数男

富山市婦中町新屋501 Tel (FAX)465-1212
E-mail:ho-kazuo@kami-nei.ne.jp
http://www.housayama-kazuo.com/

令和2年
3月定例会

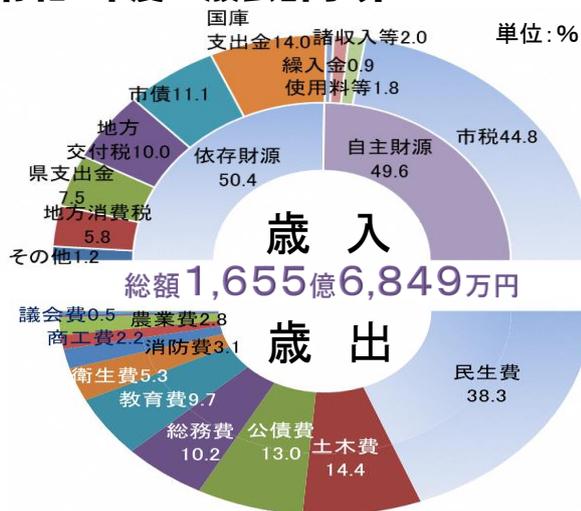
令和2年度一般会計当初予算

1,655億6,849万円 可決

特別会計では、1,298億8,319万円 可決

令和2年3月定例会は、2月28日から3月25日までの27日間にわたって行われました。一般会計予算では、前年度比0.8%増の1,655億6,849万円で、3年連続のプラスとなりました。自主財源である市税は、給与所得や家屋の新增築の増加が後押しし、市町村合併後で最高だった昨年を上回る741億7,897万円としました。市債の発行では、昨年より8.1%増の183億3,290万円で、小中学校の耐震化の費用等に充てることとしました。

令和2年度一般会計予算



歳出では、小中学校の耐震化（14校）49億8,000万円をはじめ、子育て・教育の充実や歩くライフスタイルの推進、コンパクトなまちづくり、産業振興、インフラの耐震・長寿命化などに重点配分をしました。また、富山駅南北接続事業後に向けた「まちづくりネクストステージ特別枠」では、車の自動運転時代の到来に備え、市道等の白線補修に3億4,400万円をはじめ、割山森林公園天湖森（細入地域）に大型のつり橋の設置の計画を行うなど総額7億8,670万円を充てることとしました。

また、特別会計では、国民健康保険事業の336億233万円をはじめ16事業、合計1,298億8,319万円、企業会計では、4事業467億244万円をそれぞれ原案通り可決しました。

ご挨拶

新型コロナウイルスの勢いが中々止まりません。昨年12月、中国武漢市から広まった新型コロナウイルスは、確認されてから、3ヶ月以上が過ぎています。

全国のほとんどの小中学校、高校、特別支援学校で、3月2日から春休までの期間、臨時休校の措置が取られました。安倍首相は、この一斉休校要請について、約百年前に世界的に流行した「スペイン風邪」での米国の対応を参考に決断したと述べられておられます。

スペイン風邪は、1918年に発生した新型インフルエンザのパンデミックです。死者数は世界で2千万人とも1億人ともいわれています。当時ヨーロッパでは第一次世界大戦の真っただ中で、感染が世界中に広がりました。まだ抗インフルエンザ薬もなければワクチンもない時代です。

2007年、米国CDCがアメリカ医師会誌に報告したデータでは、『スペイン風邪の流行時の1918年9月8日から1919年2月22日までの24週間、43都市において、どの市も患者隔離、学校閉鎖、集会やイベントの禁止などの少なくとも1つの医療行為以外の介入をとっている。そして対応をしっかりとった都市では、スペイン風邪超過死亡が数分の1に抑えられている。』となっています。

今回の新型コロナウイルスも、過去の対応に学びながら1日も早く終息することを心から祈る次第です。

皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

(1) すべての人が輝き安心して暮らせるまち



小学校でのプログラミング教育

小・中学校のコンピューター整備を充実

令和2年度から必修となる小学校でのプログラミング学習において、子どもたちがプログラミングを体験しながら、理論的な思考力を身につけることができるよう努めることとし、学習用コンピューターについては、小・中学校における1人1台端末を活用した学習環境の整備を進めるため、計画的に整備を図ることとしました。

また、小・中学校等の施設整備では、速星小学校校舎改築（その2）工事を、今年度と令和3年度の2カ年継続事業として行うこととし、空調事業では、

中学校に引き続き各小学校に対して今年度から実施することとしました。速星中学校体育館の改築事業は、令和3年度完成予定としました。朝日・音川小学校のプール改築は昨年引き続き行い、音川小学校は今年6月末、朝日小学校は埋蔵文化財が発掘されたため、来年3月末に完成予定となります。完成が遅れた朝日小学校は、今年は婦中スポーツプラザプールへ行くこととしています。

未来に繋ぐ小学生植樹体験事業（鵜坂、宮野、古里、神保小学校他）

平成28年5月に開催されたG7富山環境大臣会合パラレルセッション参加都市の取組みを参考に、平成29年度から、市内小学生への環境教育の一環として植樹体験を実施し、地球温暖化をはじめとする環境問題を学ぶことを通じて、環境意識の醸成を図ることとしています。

実施は、山田ふれあい公園KoRoりんの森で行い、隣接の富山市野外教育活動センターでの宿泊学習に併せて植樹を実施しています。

今年度は、鵜坂、宮野、古里、神保小学校の他12校の小学校が実施することとなりました。令和3年度までに、市内全65小学校が体験することとなります。



小学生植樹体験事業で植樹されている山田ふれあい公園KoRoりんの森



不妊検査に助成、ロタウイルス感染症予防接種も無料化



子どもを望んでいる夫婦が共に早期に不妊検査を受け、必要な場合に適切な治療を開始できるよう、不妊検査に係る費用の助成を行い、もって少子化対策の推進を図ることとしました。

また、乳幼児の重い胃腸炎を予防するロタウイルスワクチンについて、今年10月から無料で受けられることとしました。

ロタウイルスは感染力が強く、5歳までにほぼ全ての子が感染する感染症で、下痢や嘔吐、腹痛などを起こしますが、抗ウイルス薬はありません。このワクチンの接種によりロタウイルスに対する抗体ができて、ロタウイルスによる重症化を防ぐことができます。対象者は、生後6週から生後32週まで（令和2年8月生まれ以降の乳幼児を対象）となります。

婦中体育館シャワー室ボイラーを更新 自立・分散型エネルギー設備導入

スポーツ施設を安全、安心かつ快適に利用できるように、婦中体育館のシャワー室のボイラーを交換することとしました。また、フェンシング用具の更新も今年度行うこととしました。

また、SDGs未来都市計画に位置付け、内閣府から先導的な取り組みとして認定された普及啓発事業として、有事の際の避難所として利用される婦中体育館に、自立・分散型エネルギー設備（太陽光発電設備、蓄電池、空調設備、照明設備等）の導入を図り、避難所の機能維持に役立てることとしました。



自立・分散型エネルギー設備を導入する婦中体育館

(2) 安心・安全で持続性のある魅力的なまち

出典：国土地理院ウェブサイト



新たな基準で防災重点ため池となる「一本松池」
— 婦中町外輪野地内 —

「ため池」のうち、決壊した場合に人的被害を与える恐れのあるため池は「防災重点ため池」として指定され、防災減災対策が優先的に行われてきました。しかし、平成30年7月豪雨において、広島県を中心として「防災重点ため池」として指定されていなかったため池が、甚大な被害を及ぼしたことを受け、国は「防災重点ため池」の新たな基準を制定しました。それを受け、新たに追加となる「防災重点ため池」の適切な維持、補強に向けた耐震調査及び緊急時の迅速な避難行動につながるハザードマップを作製することとしました。市内のため池は40箇所が新たに対象となっており、婦中地域では6箇所が対象となります。

市内全域の市道、市管理農道の区画線を再整備

近年、高齢者ドライバー等の運転誤りによる事故が多く発生している中、車線逸脱警報装置への対応や、今後の自動運転時代への到来に備え、市内全域の白線を集中的に塗りなおすこととしました。

車線逸脱警報装置は、ドライバーが無意識のうちに車線をはみ出しそうになったとき、ドライバーに警告し、正しい位置に戻ることを促すことによって安全運転を支援しています。車の前部に取り付けられた光学式カメラセンサーは、道路上の白線を認識して対応しています。安全で円滑な道路管理を進めるため、消えかかっている市道や市管理農道の区画線を再整備することで、ドライバーのみならず歩行者にとっても安全で円滑な道路空間の再構築を行うこととしました。事業は、2カ年で完了する予定です。



センターラインが消えてしまっている市道速星堀線
— 婦中町速星地内 —



増便運行が行われているJR高山本線
— 速星駅 —

JR高山本線増便運航に引き続き負担金

平成23年度から実施しているJR高山本線の増便運航については、引き続き朝夕の増便をおこなうこととし、JR西日本に負担金を支払うこととしました。

また、生活交通維持事業としては、バス等の生活交通の維持・確保を目的に、補助制度に基づき「婦中地域自主運行バス」等6事業に対し、補助を行うこととしました。

既存バス路線の維持を図るため、国（3系統）・県（8系統）の補助制度に基づき、赤字路線バスに対しても、支援もおこなうこととしています。

(3) 人が集い活気にあふれた希望に満ちたまち

安田城跡歴史の広場を再整備

安田城跡歴史の広場は、開場から26年が経過し、堀をはじめとした施設が著しく老朽化しているため、再整備を行うこととしました。事業内容については、昨年実施した再整備基本計画に基づき、今年度は、再整備基本設計及び令和3年度実施予定工事の再整備の実施設設計を行うこととしました。

再整備基本計画の詳細は、安田城跡 歴史の広場ホームページをご覧ください。

(<https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/maibun/yasuda/saiseibi/saiseibi.htm>)



再整備を行うことに決定した安田城跡



AIチャットボットシステムのイメージ

顔認証決済社会実験及びチャットボットシステム導入

観光客等の利便性向上を図り、本市への誘客を促進するため、顔認証を利用した決済システムを、市内の一部エリアの飲食店等に導入する社会実験を実施することとしました。顔認証は、人間が普段相手を判別する手段をシステムで実現した最も身近な認証方法です。目、鼻、口などの特徴点の位置や顔領域の位置や大きさをもとに照合を行い、パスワード設定など必要がなく、専用装置が不要で導入しやすく、利便性に優れるなどの特徴を持っています。

また、外国人観光客の受け入れ環境の充実を図り、満足度向上につなげるため、AIチャットボットシステムを導入することとしました。AIチャットボットシステムとは、チャット（会話）とボット（ロボット）を組み合わせた言葉で、AIを活用した「自動会話プログラム」のことです。

(4) 共生社会を実現し誇りを大切にする協働のまち

選ばれるまちづくり事業

富山市は、市の魅力を国内外に発信する「シティープロモーション」に取り組んでいます。

市民が将来にわたって、郷土に愛着と誇りをもち、豊かで安心できる生活をおくるためには、富山市が持続的に発展していくことが必要であり、その資源となる人、もの、情報などを獲得するため、交流・定住を促進させることが不可欠です。

そのため、①認知度の向上、②イメージの浸透、③イメージの確立を図るため、（新規）海外向けプロモーション全国広告事業、東京ガールズコレクション開催事業、映画「大コメ騒動」シビックプライド事業、（新規）ハローキティちゃんとのコラボレーション企画などを行うこととしました。



昨年7月に開催された
東京ガールズコレクション
—富山市体育館—

○プレステージ・インターナショナル
presents TGC TOYAMA 2019

トピック



安田城跡資料館

安田城のあらまし

安田城は、呉羽丘陵東南麓、井田川左岸の扇状地に立地（富山市婦中町安田地内）する戦国時代の平城で、堀を含めた規模は東西約150m、南北約240mです。

本丸・二の丸・右郭（みぎくるわ）の三つの郭からなり、井田川から水を引き入れた堀をめぐらせていました。また、本丸と二の丸では高さ約2.4mの土塁が確認されています。こうした城の構造は、江戸時代文化年間（1804年～1816年）に富山藩士安達淳直、直章によって描かれた「安田古城之図」と重なる部分が多く見られます。

なります。安田城跡のように保存状態がよく全体像がわかる平城は、全国的に少なく貴重な事例として、昭和56年に国の史跡に指定されました。

安田城は、天正13年（1585年）に全国統一をめざす羽柴（豊臣）秀吉が越中の佐々成政を功めた際、秀吉の本陣となった白鳥城の支城とされています。前田家の武将であった岡島一吉が城主となった後、代官の平野三郎左衛門が居城しましたが、後に金沢に帰還し、廃城になったと伝えられています。

常設展示場では、発掘調査で出土した土器・陶磁器等を展示しています。現代によみがえった安田城を訪れてみられては如何でしょうか。



出土品展示室